

果樹産地及び果樹経営の現状と課題

我が国果樹農業の特徴

立地の特徴

多くが中山間傾斜地に立地
種々の作業が重労働化

栽培技術の特徴

収穫等の機械化が困難な作業が多い、
労働集約的

高品質生果の生産が中心
高い技術力が不可欠

品目の特徴

永年性作物として、

- ・収益を得るまで数年が必要
- ・技術の習得に時間が必要

品種更新等経営転換が容易に行えない

気象の影響を受けやすく、収量・品質が変動
収益の不安定性

果樹農業の現状

果樹経営

60歳以上の経営者が5割超 高齢化
1 ha以下層が全果樹農家の85%と
小規模農家が太宗 規模拡大の遅れ
果樹単一経営が多数 果樹生産に依存
果樹による所得が300万円未満の
低収入階層が大部分 経営基盤が脆弱

果樹産地

- ・担い手が不明確、生産・経営基盤が脆弱

農地流動化の遅れ

労働力の不足

園地整備の遅れ

- ・輸入果実・加工品の増加
- ・消費構造の変化

果樹生産

農家数の減少
栽培面積の減少
生産量の減少

耕作放棄地・廃園の増加

園地集積に結びついていない

果樹産地・果樹経営の課題

産地構造の改革

中心となる担い手の明確化

担い手と担い手以外の産地の構成農家による消費者ニーズを踏まえた産地戦略の明確化
〈生産量・品種構成・品質基準・コスト〉
〈目標・販売戦略に基づく生産、出荷等〉

担い手を核に

- ・農地の流動化
- ・労働力の確保
- ・産地体制の強化

担い手への集積

産地構造改革計画の策定

担い手への経営支援

経営安定対策の検証と見直し

各種経営支援対策の組合せ

その他

……産地・経営小委員会、果樹部会で検討

【果樹産地のイメージ】

産地

- ・生産・販売面での戦略が不明確
- ・規模拡大・低コスト化の遅れ
- ・収益の低下

担い手

- ・担い手が不明確
- ・規模拡大の遅れ
- ・園地整備の遅れ

このような中で、産地の中でも新たな芽生え

- ・園地整備の実施と作業機械、運搬車の導入による低コスト化 担い手の規模拡大
- ・リース園による園地の担い手への集積と規模拡大
- ・JAが無料職業紹介所の許可を受け、域内外から労働力確保
- ・ハウス栽培導入 品質向上、出荷期間の拡大 収益の拡大
- ・品質の高いブランド果実やこだわり果実の生産出荷

等の動き

必ずしも消費者ニーズに合わせた生産・販売がなされていない

産地

- ・産地戦略の策定
- ・販売戦略に基づく生産、出荷

担い手

- ・担い手の明確化
- ・農地集積
- ・基盤整備の集中実施
- ・労力の確保

収益の向上・担い手の経営安定
産地体制の強化

消費地へ高品質果実を安定的に供給する産地の育成

